

真菅小の学校要覧から

真菅小学校沿革の概要

- 明治5年学制頒布以来いく変遷を経て、明治23年4月町村制の実施と共に、大谷、慈明寺、曾我、地黄、北妙法寺、中曾司、小槻、土橋、寺田、五井の10大字を以て真菅村とし、真菅尋常高等小学校と改称、慈明寺、中曾司に分校を置く。
- 明治41年4月1日 一村一校の真菅尋常高等小学校を新設し、慈明寺、中曾司に文教場を設け尋常科第1・2学年の児童のみ収容する。
- 明治41年 曾我の北端に校地を選定し新築の工事を起す。(現在の校地)
- 大正2年4月 新築工事が竣工(現在の運動場に木造校舎として建築されていた)同年5月24日開校式を挙行し学校創立記念日とする。
工費3万5千円 敷地6,100㎡ 建坪1,795㎡
- 大正4年5月20日 慈明寺、中曾司の文教場を廃止する。
- 昭和4年6月1日 帽章制定(朝日に真)
- 昭和14年 運動場拡張される。(現在の北南校舎の所)
- 昭和16年4月 国民学校令施行により奈良県高市郡真菅国民学校と改称される。
- 昭和22年4月1日 奈良県高市郡真菅村立真菅小学校と改称する。
- 昭和31年2月11日 総理府告示第34号町村の廃置分合に伴い、奈良県橿原市立真菅小学校と改称される。
- 昭和33年4月1日 校区変更により磯城郡平野村飯高が本校々に編入される。
- 昭和34年3月3日 体育館兼講堂が竣工、落成式を挙行する。
- 昭和35年4月1日 校区変更により磯城郡多村大垣、豊田が本校々に編入される。
- 昭和38年1月8日 台風被害復旧として新校舎建築(北校舎)工事が敷内組の手により着工され、同年11月30日第一期工事として竣工する。
- 昭和39年8月 新校舎第二期工事に着工 昭和40年2月竣工(南校舎)する。
- 昭和40年5月1日 全館竣工を期して落成式を挙行する。
給食調理室着工 翌41年1月竣工 2月1日より学校給食を開始する。
- 昭和42年4月 水泳プール工事に着工 同年7月完成 7月21日よりプール水泳指導を始める。
- 昭和43年3月10日 新校旗、新校歌、制服制定
児童数の増加に伴い増築工事が年々行われる。(北館西端の3教室・中昇降口を含む3階までの校舎)
- 昭和49年4月1日 児童数の急増により本校を分離して真菅北小学校として大垣町に新設開校する。それに伴い本校は大谷、慈明寺、寺田、五井、曾我、北妙法寺、地黄と中曾司の内近鉄線南側の在住者を以て校区とする。学級数21 児童数796名となる。
- 昭和52年6月 児童数の増加により普通教室6教室(西校舎として延長)特別教室8教室を増築竣工する。
- 昭和54年3月20日 西校舎西へ延長3階建普通教室5 児童昇降口建築工事完了する。
- 昭和56年8月31日 体育館、屋上プール竣工する。
- 昭和57年2月27日 校門工事、周辺整備完了する。
- 昭和57年7月31日 東校舎竣工する。
- 昭和57年11月5日 増改築等総合整備が完了し落成記念式典を挙行する。
- 昭和63年12月 北校舎大改造工事完了
- 平成元年11月 南校舎(本館)大改造工事完了
- 平成元年4月~3年3月 奈良県教育委員会・橿原市教育委員会より「安全教育」の研究指定を受ける。
- 平成12年1月16日 全日本小学校管楽器教育研究大会の会場となり研究をすすめる。
- 平成12年2月13日 全国小学校管楽器合奏フェスティバル西日本大会に出場する。
- 平成12年5月24日 創立110周年をむかえる
- 平成13年1月26日 第40回奈良県道徳教育研究大会会場
- 平成13年10月 県小学校体育研究会 研究授業会場
- 平成14年4月~16年3月 橿原市教育委員会より「基礎・基本の力を培う指導のあり方」の研究指定を受ける。
- 平成14年4月~17年3月 文部科学省・奈良教育委員会より、学力向上フロンティアスクールとしての指定を受ける。
- 平成14年11月1日 第44回近畿音楽教育研究大会奈良大会会場
- 平成15年11月21日 文部科学省・奈良県教育委員会委嘱「学力向上フロンティアスクール」・橿原市指定研究学校としての研究発表会開催
- 平成16年3月15日 本館1階・2階便所整備工事完成
- 平成17年2月4日 文部科学省・奈良県教育委員会委嘱「学力向上フロンティアスクール」研究発表会開催
- 平成17年2月23日 文部科学省スクールミーティングが開催される。